

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし電子公告ができない場合は 日本経済新聞に掲載して行います。 https://www.kel.co.jp/ir/stock/koukoku.html
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

お問合せ窓口

株式事務に関する一般的なお問合せ
未払い配当金のお支払いに関するお問合せ

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031
(受付時間 9:00~17:00 土日休日を除く)

住所変更、単元未満株式の
買取・買増などのお問合せ

お取引のある証券会社などにお申出ください。
なお、証券会社などに口座がない株主様は、上記の三井住友
信託銀行株式会社にお申出ください。

KELコーポレートサイトのご紹介

当社ホームページでは決算短信や有価証券報告書をはじめ、最新の財務情報・適時開示情報等のIR情報を掲載しております。是非ご覧ください。

<https://www.kel.co.jp>

KEL
KANEMATSU ELECTRONICS LTD.

兼松エレクトロニクス株式会社

〒104-8338
東京都中央区京橋2-13-10



UD FONT

第55期 中間株主通信

2022年4月1日から2022年9月30日まで

KEL
KANEMATSU ELECTRONICS LTD.

証券コード：8096



代表取締役 社長執行役員

渡辺 亮

お客様のDXに伴走する戦略的パートナーとしての地位確立に向けたアライアンス戦略を策定・推進します

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。コロナ禍は徐々に落ち着きを見せ、社会経済活動の制限が緩和されたことにより、企業のIT投資需要は回復しつつあります。一方で、ウクライナ紛争の長期化による地政学的リスクの高まりはもちろん、米国における政策金利の大幅な引き上げによる急激な円安の進行や資源価格の上昇も重なり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

そうした状況下、当社グループは主力事業である仮想化、セキュリティなどのソリューションビジネスや3Kを中心としたサービスビジネスのさらなる拡販を図り、中間期における最高益を2年連続で更新いたしました。

2022年8月には株式会社テリロジー（現 株式会社テリロジーホールディングス）との資本業務提携を締結し、広範なセキュリティサービスの提供や両社が得意とする領域を効果的に補完し合うなど、関係強化を積極的に進めております。また、2022年10月には、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の株式を追加取得し、持分法適用会社化するなど、お客様のDXに伴走する戦略的パートナーとしての地位確立やサービスビジネスの競争力強化など、当社グループとしての持続的成長の課題解決に向け、さらなる企業間連携とリソース共有化によるシナジー創出を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期の概況について

国内IT業界におきましては、半導体をはじめとする部材不足やサプライチェーンの混乱に伴う供給面の制約に加え、急激な円安の進行による調達コストへの影響などにより不透明感が増す一方で、コロナ禍におけるニューノーマルの定着に伴い、ライフスタイルやワークスタイルの変化による企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)は一層加速しました。さらに、ランサムウェアなど高度化・多様化したサイバー攻撃の急増に伴うセキュリティ対策需要に加え、人手不足を背景とした業務効率化や自動化のための戦略的なIT投資の重要性は高まり続けています。

このような環境の中、当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスの展開に加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」などのソリューションビジネスおよびお客様のリモートワーク環境の整備などに注力してまいりました。

具体的には、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の一環として堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K(スリーケー)*を中心としたサービスビジネスのさらなる拡販を図りました。また、当社の中長期的な企業価値の向上に向け、セキュリティ事業領域のさらなる拡大・深耕を図ることを目的に、2022年8月に株式会社テリロジー（現 株式会社テリロジーホールディングス）と資本業務提携契約を締結いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、397億9千1百万円、前年同期比57億2千7百万円(前年同期比16.8%増)の増収となりました。営業利益は、67億2百万円となり、前年同期比6億2千7百万円(前年同期比10.3%増)の増益、経常利益は、67億3千5百万円となり、前年同期比6億6百万円(前年同期比9.9%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、45億5千2百万円となり、前年同期比3億6千5百万円(前年同期比8.7%増)の増益となりました。

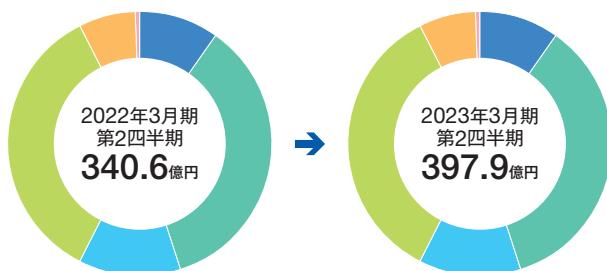
* 3K(スリーケー)：「KEL Briefing Center(KBC)」、「KEL Custom Cloud(KCC)」、「KEL Managed Service(KMS)」から成るサービスビジネス群

決算ハイライト

	2021年 3月期 第2四半期	2022年 3月期 第2四半期	2023年 3月期 第2四半期	前年 同期比
売上高 (億円)	314.7	340.6	397.9	16.8%増
営業利益 (億円)	50.0	60.7	67.0	10.3%増
経常利益 (億円)	51.3	61.2	67.3	9.9%増
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (億円)	34.7	41.8	45.5	8.7%増

業種別・事業別売上高／セグメントの状況

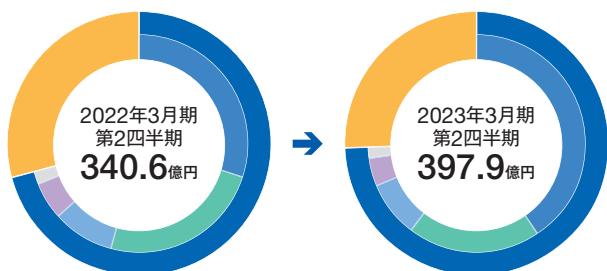
業種別売上高



(単位：億円)

	2022年 3月期 第2四半期	2023年 3月期 第2四半期	前年同期比	売上高 構成比率
■ 流通業	33.3	34.3	2.8%	8.6%
■ 製造業	120.5	163.2	35.5%	41.1%
■ 金融業	42.3	44.1	4.1%	11.1%
■ サービス業	119.0	122.5	2.6%	30.7%
■ 文教・公共	23.9	32.3	35.4%	8.1%
■ その他	1.3	1.5	15.1%	0.4%

事業別売上高



(単位：億円)

	2022年 3月期 第2四半期	2023年 3月期 第2四半期	前年同期比	売上高 構成比率
■ システム事業	241.5	296.8	22.9%	74.6%
■ サーバー	102.3	162.3	58.9%	40.8%
■ ストレージ	82.6	77.9	△5.9%	19.6%
■ ネットワーク	31.1	32.8	5.8%	8.3%
■ ドキュメント	19.3	16.7	△13.5%	4.2%
■ その他	6.1	6.8	13.1%	1.7%
■ サービス・サポート事業	99.0	101.1	2.0%	25.4%

セグメントの状況

■ システム事業

システム事業の売上高は、296億8千1百万円となり、製造業向けのサーバー関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比55億2千4百万円(前年同期比22.9%増)の増収となりました。

■ サービス・サポート事業

サービス・サポート事業の売上高は、101億1千万円となり、製造業向けのクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比2億3百万円(前年同期比2.1%増)の増収となりました。

2023年3月期 通期連結業績予想

(単位：億円)

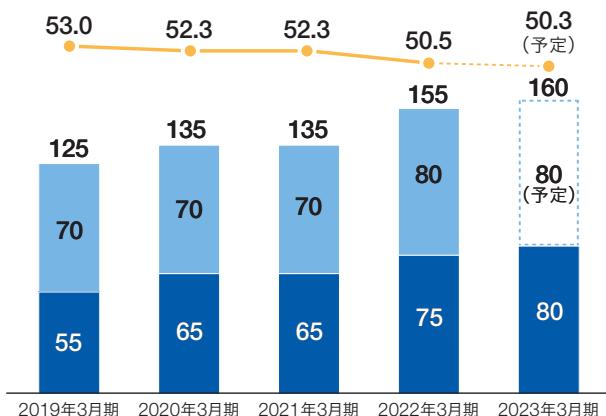
	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比
売上高	713.3	770.0	7.9%増
営業利益	126.8	134.0	5.6%増
経常利益	127.8	135.0	5.6%増
親会社株主に帰属する 当期純利益	87.8	91.0	3.6%増

当連結会計年度における通期連結業績予想につきましては、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の持分法適用会社化による収益への寄与および供給面の制約による納期遅延の改善、足元の商談状況の好調な推移により、売上高は770億円(前年同期比7.9%増)、営業利益は134億円(前年同期比5.6%増)、経常利益は135億円(前年同期比5.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は91億円(前年同期比3.6%増)となる見込みです。

なお、上記予想は、現時点で入手可能な情報および一定の前提に基づくものであり、実際の業績は今後の動向等、様々な要因により変動する可能性があります。

1株当たり配当金

■ 期末配当 ■ 中間配当 (円) — 配当性向 (%)



株主の皆様への利益還元につきましては、中長期的な企業成長の基盤強化に努め、安定的かつ継続的な配当をしていくことを基本方針とし、中期経営計画の数値目標の一つとしても「配当性向50%以上」を掲げております。

中間配当金は、上記方針および当第2四半期連結累計期間の業績等を総合的に勘案し、1株当たり80円とすることといたしました。期末配当金は、1株当たり80円を予定しております。

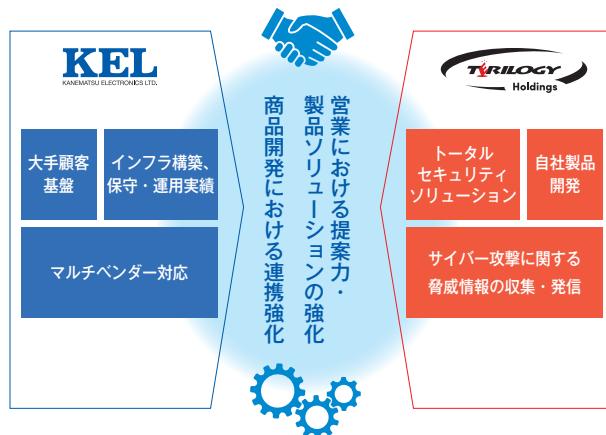
トピックス

株式会社テリロジー (現 株式会社テリロジーホールディングス) との資本業務提携

当社は、株式会社テリロジー（以下、テリロジー）（現 株式会社テリロジーホールディングス）に出資し、資本業務提携契約を締結いたしました。近年、コロナ禍におけるリモートワークの推進や、デジタルトランスフォーメーション（DX）の加速による業務のデジタル化が進む一方で、サイバー攻撃を受けるリスクが日々増大化しています。このような状況の中、このたびの資本業務提携においては、当社とテリロジーが得意とする領域を補完し合うことで、お客様に対してより広範なセキュリティサービスを提供することを目的としています。

当社は、大手企業を中心としたエンドユーザーに対して、ネットワークおよびセキュリティのインフラ構築やサービスの実装、保守・運用ビジネスの実績を積み重ねるなど、セキュリティに関する多種多様なニーズに対応できるサービス体制の整備を進めています。一方、テリロジーは、創業以来トータルセキュリティソリューション事業を営むとともに、長年培ってきたネットワーク、セキュリティビジネスでの知見を活かし、自社製品の開発にも努めています。

今後は、両社の強みを活かして、営業提案力と製品ソリューションの強化および共同での商品開発を推進し、お客様が抱える様々なセキュリティにおける課題解決を目指してまいります。



グローバルセキュリティエキスパート株式会社の株式追加取得に伴う持分法適用会社化

当社は、2022年9月30日開催の取締役会において、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の株式を、株式会社ビジネスブレイン太田昭和より追加取得することを決議し、2022年10月3日に株式を取得いたしました。本株式取得に伴い、グローバルセキュリティエキスパート株式会社は当社の持分法適用会社となりました。



1. 株式取得の理由

当社とグローバルセキュリティエキスパート株式会社は2017年8月に情報セキュリティ分野における資本業務提携を行い、相互のセキュリティ戦略における重要なパートナー企業として、資本業務提携以来、緊密に連携しながら様々な取り組みを行ってまいりました。昨今、社会のデジタル化に伴い、ICTの在り方は急速に変化しており、当社ビジネスにおいても既存Sierに加えて新たに参入する競合先との競争激化の兆しが見え始めています。このような状況下、お客様のビジネス変革いわゆるDXに伴走する戦略的パートナーとしての地位の確立や、クラウドからエンドポイントに至るまでのサービスビジネスの競争力強化など、当社グループとしての持続的成長への課題解決に向け、グローバルセキュリティエキスパート株式会社とのさらなる企業間連携の強化とリソース共有化等によるシナジー創出が不可欠と判断し、このたび株式を追加取得し、グローバルセキュリティエキスパート株式会社を持分法適用会社といたしました。

2. 取得方法

株式会社ビジネスブレイン太田昭和との市場外での相対取引による株式の取得

3. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式数の状況 (2022年10月3日現在)

①異動前の所有株式数	300,000株 (議決権所有割合: 9.01%)
②取得株式数	469,000株
③取得価額	2,324,833千円
④異動後の所有株式数	769,000株 (議決権所有割合: 23.11%)

NetApp Inc. 「FY22 APAC Partner Excellence Awards / Solution Innovation Award」受賞

「FY22 APAC Partner Excellence Awards / Solution Innovation Award」は、NetApp Inc.のFY22(期間: 2021年5月 ~2022年4月)において、アジア太平洋地域で様々なお客様に対し、多様なソリューションでお客様の求めるワークロードの実現に最も貢献したパートナー企業に贈られます。



KELは、FAS/AFF製品を中心に拡販・新規顧客の獲得施策を推進し、特にオールフラッシュ分野のビジネスを大きく伸長させました。加えて重点施策として掲げるサービスビジネスの推進において、多様なNetAppソリューションを展開したことを評価され、本年6月に受賞に至りました。

また8月には、ネットアップ合同会社より日本国内におけるNetApp製品/サービスの販売や、共同販促活動、お客様への戦略的なソリューション開発、先進的な事例展開などで最も貢献したパートナーとして「Partner of the Year 2022」を受賞、合わせてケー・イー・エルテクニカルサービス株式会社(KTS)とともに、製品/サービスやデータ管理ソリューションを基盤に、最も安定して優れたサポートを提供したパートナーとして「Service Partner of the Year 2022」も受賞しています。

VMware Security Partner Allianceを締結

グイェムウェア株式会社との間で、セキュリティによりフォーカスした新たなパートナーシップであるVMware Security Partner Allianceを締結しました。

KELはグイェムウェア株式会社の提供するネットワークセキュリティサービス(SASE)およびエンドユーザーコンピューティング(EUC)分野の展開に注力し、同社のセキュリティサービスを軸としたビジネス創出とエンジニア育成を強化しています。

なお、本パートナーシップではVMware Securityが「エンドポイントセキュリティ」「データセンターセキュリティ」「ネットワークセキュリティ」の3つの領域に分類され、それぞれ取り扱い製品・サービスが異なります。KELはこれら3つの領域すべてをカバーできるパートナー企業として位置づけられています。

会社概要

商号	兼松エレクトロニクス株式会社
英文名	KANEMATSU ELECTRONICS LTD.
本社	東京都中央区京橋2丁目13番10号 電話 (03)5250-6801(代表)
設立	1968年7月23日
資本金	9,031百万円
従業員数	462名(単体) 1,310名(連結)
Webサイト	https://www.kel.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 情報通信業 #8096

役員

代表取締役 社長執行役員	渡辺 亮	監査等委員である 取締役	高橋 薫
取締役 執行役員	鈴木 勝人	監査等委員である 取締役(社外)	加藤 研一
取締役 執行役員	玉岡 英人	監査等委員である 取締役(社外)	藤本 光二
取締役	薦野 哲郎	監査等委員である 取締役(社外)	栗林 美保
取締役(社外)	鈴木 智行		
常務執行役員	近藤 壮一		
執行役員	岡崎 恭弘		

主要な事業所

- 技術センター
- 大阪支社
- 名古屋支店
- 仙台支店
- 札幌支店
- 福岡支店

関係会社

- 日本オフィス・システム株式会社
- ケー・イー・エルテクニカルサービス株式会社
- 兼松電子(成都)有限公司
- Kanematsu Electronics (Thailand) Ltd.
- 株式会社 i-NOS

株式の概況

発行済株式総数	28,633,952株
株主数	16,635名

大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
兼松株式会社	16,554	57.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,317	8.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	777	2.71
第一生命保険株式会社	675	2.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	289	1.01
株式会社日本カストディ銀行(年金信託口)	278	0.97
野村信託銀行株式会社(投信口)	243	0.85
株式会社三菱UFJ銀行	210	0.74
東銀リース株式会社	193	0.68
東京海上日動火災保険株式会社	169	0.59

※ 持株比率については、自己株式(13,344株)を控除して算出しております。

株式の分布状況

